広尾病院

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿二丁目 34 番 10 号
電話　03-3444-1181

病院の概要

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療に重点を置いた総合的な病院であり、「東京ER・広尾」を擁するほか、心臓循環器救急及び、熱傷救急にも対応しています。また、国際化対応にも力を入れ、外国人を含むあらゆる患者さんから選ばれる病院を目指しています。2017 年 3 月、日本医療教育財団の定める「外国人患者受入れ医療機関認証制度」を受審し、都立病院としては初の認証（JMIP 認証）を受けております。また基幹災害拠点病院として、他の災害拠点病院、災害ボランティア、企業及び行政の防災担当者等を対象とした訓練・研修を行うとともに、大規模災害時における重傷患者の受入体制を確保し、DMAT 及び医療救護班の派遣体制を常時整えています。

■ 診療科目

血液内科　糖尿病内分泌科　消化器内科　腎臓内科　脳神経内科　感染症内科　リウマチ膠原病科　呼吸器科
循環器科　神経科小児科　外科　心臓血管外科　整形外科　リハビリテーション科　脳神経外科　形成外科
皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　歯科口腔外科　麻酔科　救命救急センター
総合救急診療科　内視鏡科　輸血科　検査科　病院総合診療科　外傷センター

■ 基幹施設となる診療科　（括弧内は連携施設病院）

- 内科　（大久保 / 大塚 / 駒込 / 豊島 / 墨東 / 多摩総合 / 神経 / 松沢 / 東京共済病院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 東京科学大学病院 / 東京歯科大学市川総合病院 / 公立昭和病院 / 国立循環器病研究センター病院 / 日本医科大学付属病院 / JCHO 東京山手メディカルセンター / 横須賀共済病院 / JR 東京総合病院 / 浦添総合病院 / 島しょ等）
- 麻酔科　（大久保 / 大塚 / 駒込 / 豊島 / 荏原 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩北 / 東部 / 多摩南 / 神経 / 小児総合 / 草加市立病院 / 春日部中央総合病院）
- 救急科　（杏林大学医学部付属病院 / 大分県立病院 / 鹿児島県立大島病院 / 東京都済生会中央病院 / 東邦大学医療センター大森病院 / 島しょ等）
- 総合診療科　（駒込 / 松沢 / 大島医療センター / 神津島村国民健康保険直営診療所 / 三宅村中央診療所 / 町立八丈病院 / 小笠原村診療所 / 奥多摩病院 / 同善病院 / 家庭医療学レジデンシー東京（CFMD））

■ 連携施設となる診療科　（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- 内科　（大久保 / 大塚 / 駒込 / 豊島 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩北）
- 外科　（墨東 / 多摩総合）
- 小児科　（小児総合）
- 精神科　（多摩総合 / 松沢）
- 整形外科　（多摩総合）
- 麻酔科　（大塚 / 駒込 / 荏原 / 墨東 / 多摩総合 / 東部）
- 皮膚科　（墨東）
- 病理科　（駒込）
- 総合診療　（駒込 / 多摩北）

（シニアレジデント集合写真）

臨床研修委員会委員長及びシニアレジデントのひとこと

臨床研修委員会委員長からのひとこと

循環器科医長
北條　林太郎

当院は区西南部の地域医療拠点として、東京 ER・救命救急センターを運営し、他の医療機関では対応困難な傷病を積極的に受け入れています。東京 ER では多様な一次・二次救急疾患を主体的に診療でき、シニアレジデントの格好の研修の場となっています。救命救急センターではさらに高度な専門治療・集中治療を要する循環器・脳血管疾患や外傷、高度熱傷など重症患者の診療に携わることが可能です。その他の重点医療として災害・島しょ医療が挙げられます。東京都の基幹災害拠点病院としての災害医療研修や島しょからの重症患者のヘリ搬送など、特色ある研修が受けられます。国際化対応にも力を入れ、「外国人患者受入れ医療機関認証：JMIP 認証」を受けています。さらに、東京都立病院へ総合診療科を新設するプロジェクトの先駆けとして、2023 年度より新たに病院総合診療科が開設されました。地域医療と結びついた、さらに幅広い診療を行える環境が整っています。

各診療科コースプログラムのうち、当院で研修が困難な内容については東京医師アカデミー関連病院等での院外研修も可能です。原則として専門診療科コース研修ではありますが、診療科ローテーションなど、各人の研修希望を可能な限り尊重しつつ研修プログラムを立案しています。診療技術・知識の習得を目的とした院内学習会、臨床研究サポートチームによる研究計画立案・学会発表のアドバイス、院外講師を招いての研究手法の講義、などを定期的に行っております。私自身、当院シニアレジデントの出身でもあり、その経験を活かし、皆様の研修が有意義になるようサポートしていきます。

シニアレジデントからのひとこと

循環器科
４年次
砂川　昌隆

広尾病院循環器科で後期研修をさせて頂いております砂川昌隆と申します。当院の循環器科の後期研修の魅力は、なんといってもスタッフの人数が豊富で、雰囲気が良いことです。診療で悩んだ際は虚血、不整脈とも気軽に上級医に相談する事ができ、安全に診療を行う事が可能です。循環器疾患は対応の遅れが致命的な結果となってしまうため、特に４月５月の初期研修医を修了したばかりの時期は、上級医の先生方のバックアップが本当に支えになりました。

また、当科には積極的に若手に手技をやらせようという雰囲気があります。スタッフの人数が豊富であり手技の指導を出来る先生が多いため、後期研修医が PCI やカテーテルアブレーションの術者となる機会も豊富です。自分に手技のチャンスがまわってくることで、勉強にも身が入るため、充実した効率のよい研修ができると思います。

加えて、学会活動や論文作成も活発に行っております。日本循環器学会総会には後期研修医はもちろんほぼスタッフ全員が毎年演題を提出しておりますし、虚血・不整脈ともに海外学会発表のチャンスが年に複数回あります。日常診療に平行して学会活動や論文執筆に取り組む事はもちろん大変ですが、若いうちからたくさんの学会発表を経験することで、プレゼンテーションの能力を高める事が出来ます。論文執筆の指導も充実しており、後期研修医のうちに英語論文を複数提出される先生もいらっしゃいます。

当科での研修では良い雰囲気の中、力を高める事が可能です。是非当科での後期研修をご検討ください。

（ヘリ搬送（島しょ医療））

（心臓カテーテルアブレーション）